

平成29年度 先端・大型研究設備共用に関する「機器分析・工作技術交流会」 共用機器を組み合わせて、あなたの実験、もっと素敵にします 実施報告

コーディネーター：乙黒 聡子（薬学研究院 創薬科学研究教育センター）

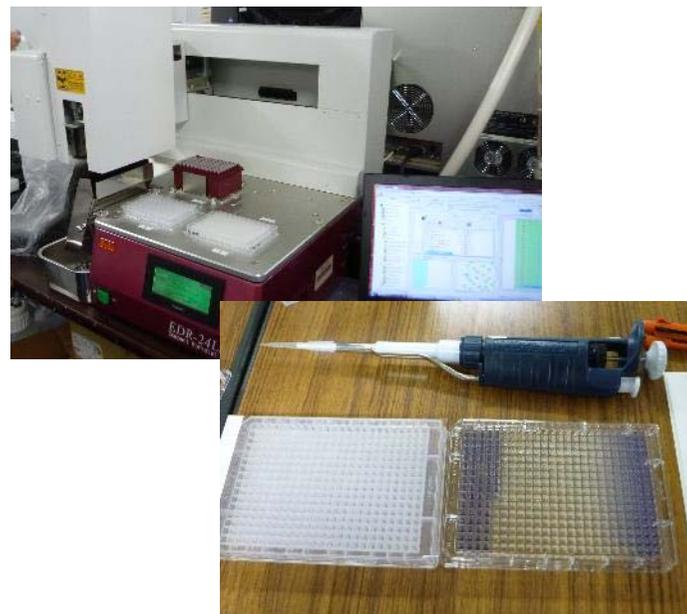
平成30年3月23日（金）

北海道大学薬学研究院 創薬科学研究教育センターにおいて『機器分析・工作技術交流会』を開催いたしました。

本交流会は、日ごろ様々な装置を組み合わせて研究者や学生の実験をサポートしている技術職員が講師役となり、技術提供ならびに情報共有する場として企画した実験実習型の交流会です。

装置単体では得られない技術支援のコツが過去の事例を交えながら紹介されたほか、グループでのケーススタディやピペット片手にマニュアル操作と機械操作での試料調整における正確性比較実験などを行いました。

終始手と頭を動かさず技術交流会のありがたさは、参加者同士のコミュニケーションも深まる好事例となりました。



技術交流会（対象：技術職員） 参加者：学内（5名）

コーディネーター含む



先端・大型研究設備共用に関する「機器分析・工作技術交流会」は、名称を少しずつ変えながら継続され、今回で5年目を迎えます。「北海道内の機器分析を主たる業務とする技術職員を対象にした技術交流会」であるとともに、「技術職員自身がコーディネーターとして活動する会」であることが特徴となっています。GFCでは企画実施にあたって講師召集費・実習にかかる消耗品費等の補助を行うほか、運営サポートをさせていただいております。